

## 0950 | 日本画 II

4 単位（通信授業 2 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、内田あぐり教授、西田俊英教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星晃講師、和田雄一講師

## 授業の概要と目標

風景をテーマに、自然と向き合いながらその美しさを体感し、自然の骨格を知ることで日本画の扱い方や表現方法を学びながら独自の視点で捉えた制作を試みる。

通信授業では、風景デッサンと日本画制作を行う。面接授業では、日本画制作を通して、小下図、大下図の作り方等の基礎的なプロセスをさらに深め、岩絵具の発色の工夫、支持体としての和紙、マチエール等、画面上で日本画の素材がもたらす効果を研究し、描き方としての基礎知識の再確認と、素材を十分に扱いこなす描法を習得する。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1「風景デッサン」

身近な風景をモチーフに、自己が美しいと思う場所を探し、画面の中にどの様に入れて描けば風景としての広がりや対象物の面白さが出るかを考え、次のテーマでデッサンをする。

- ・遠近感のある身近な風景のデッサンをする。
- ・興味深い場所や、特徴的な視点で選んだ対象をデッサンする。
- ・風景をモチーフに、色を用いてデッサンをする。

## ○通信授業課題 2「風景制作」

描いたデッサンをもとに小下図、大下図及び日本画絵具を使い、F15 号の紙本彩色による制作をする。

## ○面接授業課題「風景制作」

- ・風景をモチーフに写生と日本画絵具を使い、F15 号以上の紙本彩色による制作をする。

## 授業計画

## [通信授業]

学習指導書『日本画 I・II 平成 29 年度』の「日本画 II」、教科書『日本画・表現と技法』の「風景を描く」、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

## [面接授業]

第 1 日	午前：前提講議	午後：制作（デッサン）
第 2 日	午前：制作	午後：制作（デッサン・準備）
第 3 日	午前：制作（下図・トレース）	午後：制作（下地）
第 4～5 日	午前：制作（着色）	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

## 成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 2 年次

[履修条件] 「日本画 I」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 油絵学科日本画コース指定科目。

日本画コース進学希望者は 2 年次に履修すること。日本画コース 3 年次編入学生は必修ではないが、履修することが望ましい。

「日本画 I」を同時に履修する場合は、「日本画 I」のスクーリングを先に受講すること。

## 教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版局 2004 年）

学習指導書：『日本画 I・II 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）